建築関係科部会

会場 山形県教育センター

参加者 米沢工高 山形工高 山形電波工高

新庄神室産業高 鶴岡工高

1 各学校ごとの研究・議論テーマと内容

平成 29 年 12 月 6 日（木）午後に山形県教育センターにおいて建築関係科部会を開催し、米沢工業高校、山形工業高校、新庄神室産業高校、山形電波工業高校、鶴岡工業高校より 5 名が参加した。

研究討議、情報交換等を行った。研究発表者及び研究題名は以下のとおりである。

2 各学校ごとの研究・議論テーマと内容

1) 「山形工業高等学校建築システム科の取り組み」

山形工高

2) 「建築教科における AL の実践と課題」

米沢工高

3) 「進路指導について」新庄神室産業高校

4) 「空き屋問題への取り組み」鶴岡工高

5) 「ものづくり東北大会事務局からの報告」

山形電波工高

3 情報交換

1) 進路について

日本経済が上向いている現況において、建築業界も若い力を必要としており、本年度も各校ともに求人数・就職決定率は高水準で推移している。また今後も東京五輪をひかえインフラ・都市の再生が見込まれ高い就職決定率が期待できると推測される。

2) 資格取得について

各種資格の中で、特に 2 級建築施工管理技術検定は今年度から年 2 回の実施となった。しかし前期の検定受験は、現行の教育課程を鑑みると各校いずれも困難な実情にあると報告された。尚、全国を見れば、2 年生、或いは前期での合格者も出てきていることが報告され、技術者育成の観点から各校共に取り組みの強化を認識し共有した。

3) ものづくりコンテスト「木工部門」について

今年度は本県において東北大会を開催し、選手・運営共に充実した大会となった。近年の就職希望者の増加を踏まえ、幅広い教育の必要性を共有した。